

令和3年度 再配達削減実証実験 実施結果

令和4年1月

大分県生活環境部
うつくし作戦推進課



概 要

【再配達削減実証実験について】

- ◆目 的 : 宅配の再配達削減によるCO2削減を図るため。
- ◆対 象 : 大分県内在住で、置き配バッグ「OKIPPA」を設置し、宅配便受取記録及びアンケート調査にモニターとしてご協力いただける方。
- ◆応募期間 : 令和3年8月20日～9月20日
- ◆定 員 : 300名
- ◆応募数 : 1,173名
- ◆実施期間 : 令和3年10月1日～11月14日

【アンケート調査について】

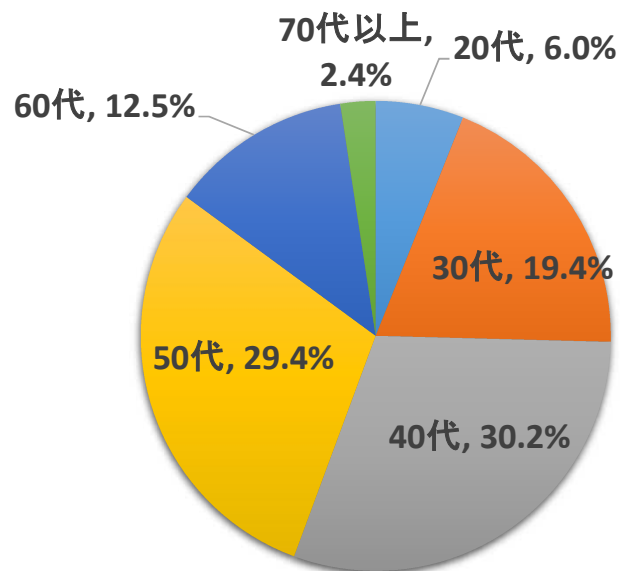
- ◆モニター参加者に、宅配便受取記録及び宅配便の利用状況等に関するアンケートを依頼し、回答いただいた。
- ◆回答方法 : WEBフォーム
- ◆回答数 : 248名

モニター参加者の属性について

お住まいの市町村

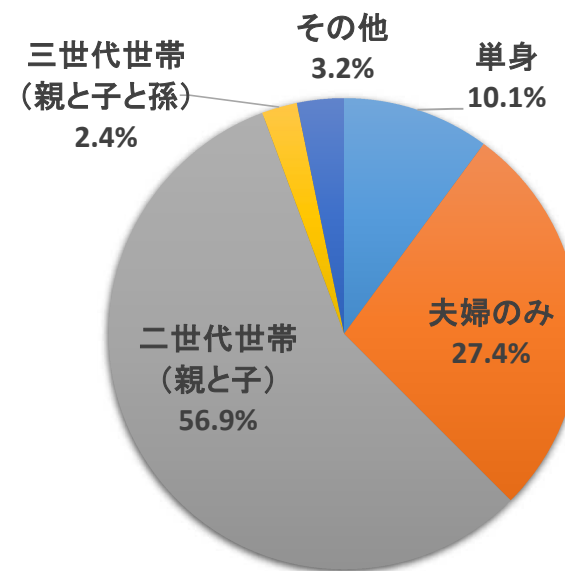
大分市	177世帯
別府市	18世帯
中津市	5世帯
佐伯市	3世帯
臼杵市	4世帯
津久見市	2世帯
竹田市	1世帯
杵築市	7世帯
宇佐市	1世帯
豊後大野市	8世帯
由布市	6世帯
国東市	3世帯
日出町	6世帯
九重町	3世帯
玖珠町	4世帯
計	248世帯

年代



モニター参加者の年代は、40代、50代が多く、全体の約6割を占めた。

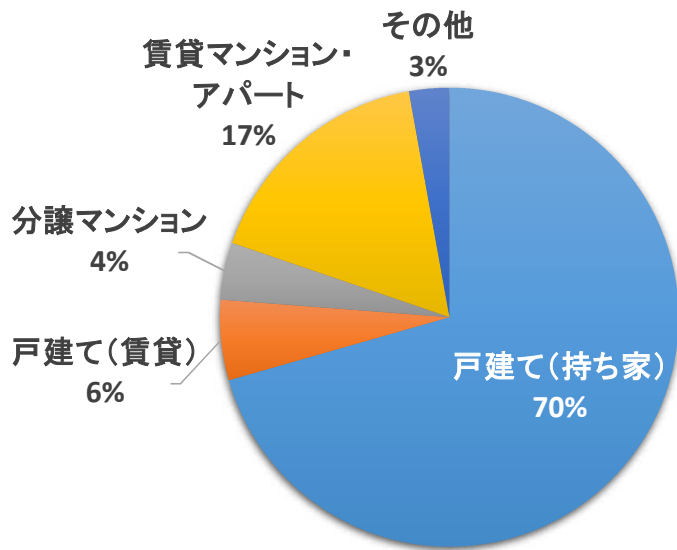
家族構成



モニター参加者の家族構成は、二世帯世帯（親と子）でお住まいの方が多く、半数以上を占めた。

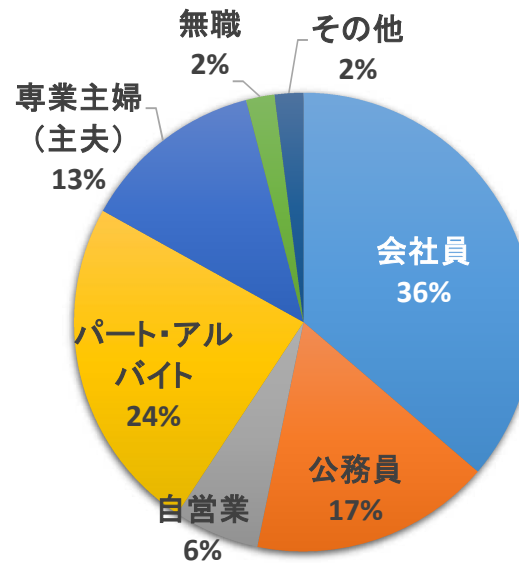
モニター参加者の属性について

住居形態



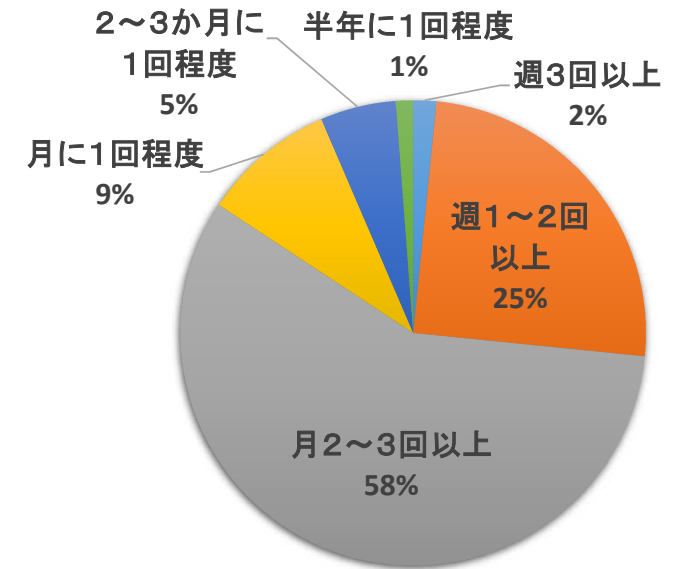
モニター参加者の7割が戸建て(持ち家)にお住まいの方であった。

職業



モニター参加者の職業は、会社員、続いて、パート・アルバイトの方が多く、全体の6割を占めた。

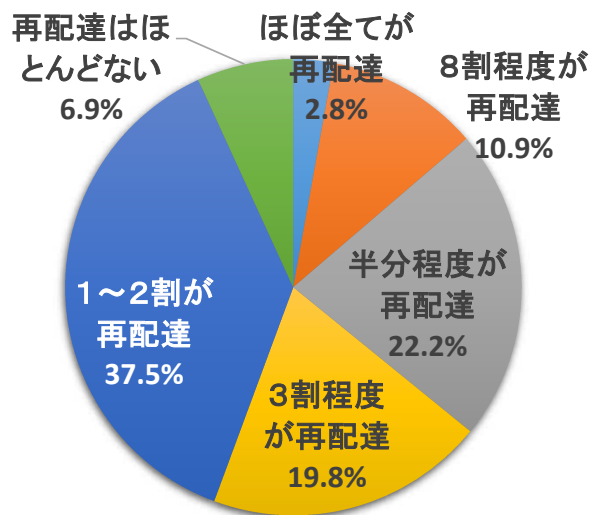
インターネットでの商品購入頻度



モニター参加者の8割以上が月に2~3回以上インターネットで商品を購入していることが分かる。

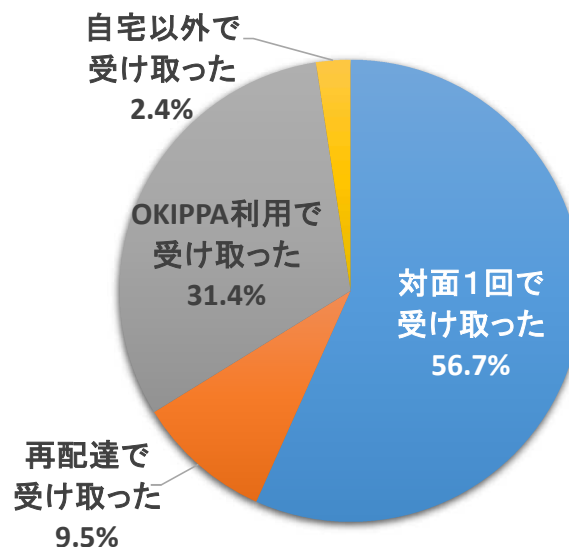
再配達削減実証実験の結果について

最近1年間の再配達状況



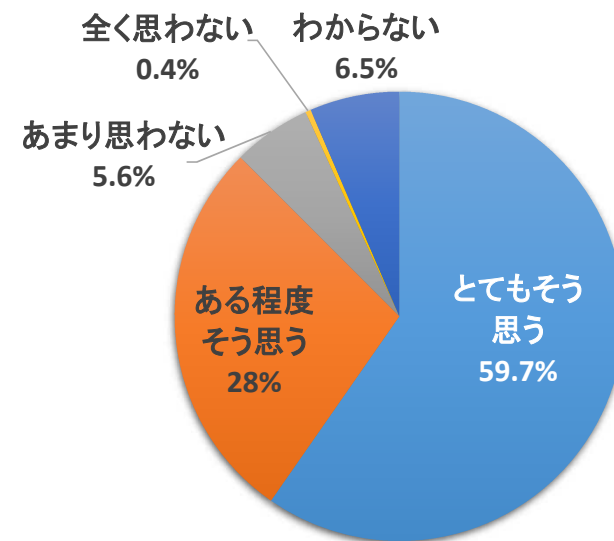
最近1年間の再配達状況について、「再配達ほとんどない」と回答したのはわずか6.9%であり、ほとんどの家庭で再配達が発生していることが分かる。

実証実験期間中の受取状況



実証実験期間中（10/1～11/14）の受取状況について、置き配バッグの利用による受取が3割程度あった。一方で、再配達での受取は1割未満であった。

「OKIPPA」を利用することにより、再配達の削減につながったと思いますか



回答者中87.7%の方が、「OKIPPA」を利用することにより再配達の削減につながったと思う、との回答があった。

再配達削減実証実験の結果について

二酸化炭素排出抑制量の算出

再配達削減実証実験期間中（10/1～11/14）、
約**359.4kg**の二酸化炭素排出量を抑制したと算出できる。

（※回答のあった248世帯の配達個数をもとに算出）



①杉の木に換算すると、
杉の木約**25本**が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当する。

（※林野庁HPを参考に1本あたり約14kgとして計算）

②大分県内の家庭から1日に排出される二酸化炭素排出量に換算すると、
14世帯が1日に排出する二酸化炭素量に相当する。

（※1世帯が1日に排出する二酸化炭素量を約25kgとして計算）

【算出式】 二酸化炭素排出抑制量[t-CO₂]

$$=N[\text{個}] \times 0.58[\text{km}/\text{個}] \times \left(\frac{N_{\text{再}} + N_0}{N} - \frac{N_{\text{再}}}{N} \right) \times 1[t] \times 808/1000000[t - \text{CO}_2/t \cdot \text{km}]$$

N[個]: 総配達個数

N_再: 再配達によって受け取った個数

N₀: OKIPPAIにて受け取った個数

0.58[km/個]: 宅配事業者から提供の配送車の走行距離を取扱個数で除して算出。
走行距離には幹線輸送の数値を含まない。

1[t]: 積載量の平均を1tと想定。

808/1000000[t - CO₂/t · km]: 営業用小型車の二酸化炭素排出原単位

※国土交通省「宅配の再配達の削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会報告書」を参考に算出



ご協力いただいた皆様、
ありがとうございました。